

安全重点施策

(1) 安全運航に徹して事故ゼロを継続する

- ・ 運航管理者は安全確保に最前線で取組み、船員や陸上係員に対して安全教育を実施する
- ・ 船長は気象変化や他船舶の動向を早期に把握し、迅速かつ的確な判断を行う
- ・ 船舶乗組員および陸上係員は、船体・機関・陸上施設の現状を把握するとともに、定期的に保守点検を実行する

月間強化項目

- 4・5月 遊漁船やレジャーボートの動向に注視し早めの避航操船を行う
- 6～8月 濃霧など視界制限状態時の見張りを強化する
- 9月 台風や急速に発達する低気圧などの気象状況を把握し、早めの警戒を行う
- 10・11月 刺し網の注視など夜間航行時の見張りを強化する
- 12～2月 季節風等の気象状況を把握し、強風下の操船に注意する
- 3月 遊漁船の動向に注視し早めの避航操船を行う

(2) ヒヤリハットおよび不具合事例を分析し、ヒューマンエラーゼロを目指す

- ・ 運航管理者は半月毎に事象の集計を行い、分析と対策をたて各所へフィードバックする
- ・ 船長、機関長は業務に関する注意点を継続的に発信し、危険予知活動を実行する
- ・ 船舶乗組員および陸上係員は、ヒヤリハット・不具合事象を積極的に報告し自らも再発防止について考察する

2020年4月1日
箱根観光船株式会社